令和５年度シラバス（国語）　　学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

教科(科目)	国語(言語文化)	単位数	２単位	学年(コース)	１学年
使用教科書	数研出版　『新編　言語文化』				
副教材等	第一学習社『新版六訂　カラー版　新国語便覧』　尚文出版『常用漢字　ダブルクリア　四訂版』				

1　学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2　指導の重点

進学･就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。

② 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3　評価の観点の趣旨

知識・技能　a	思考･判断･表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

4　評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能　a	思考･判断･表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
評価の観点	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・　ペーパーテストの分析 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 などから､評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・　ペーパーテストの分析 ・　授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 ・　振り返りシートの記述の分析 などから､評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・　授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 ・　振り返りシートの記述の分析 などから､評価します。

５　学習計画

学期	区	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
前期	中間Ⅰ	地域の「ことば」	５「Ｂ読むこと」近代以降	とんかつ	・小説全体の構成・展開を読み取り、内容を理解する。 ・表現の特色を捉え、その効果を考える。	a b	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）
		古文の世界を楽しむ	５「Ｂ読むこと」古典	古典の学習・児のそら寝・説話集を読む楽しみ	・古文と現代文の違いを理解する。 ・登場人物の様子や心情を考えて発表する。	a c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
		日本語の中に生きる漢文	５「Ｂ読むこと」古典	訓読のきまり・格言	・訓読のきまりを理解する。 ・格言の意味を理解して日常生活で使うことができるようにする。。	a、 b、c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
	中間Ⅱ	受け継がれる古典	５「Ｂ読むこと」近代以降	羅生門	・小説全体の構成・展開を読み取り、内容を理解する。 ・登場人物の様子や心情を読み取り、自分の考えをまとめる。	a c	ワークシート（記述の点検） ワークシート（記述の確認）
		詩歌を味わう	５「Ａ書くこと」	短歌・俳句	・語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・適切な題材を決め、情景や心情を短歌に詠み込む。	a c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
		現代にも生きる教え	５「Ｂ読むこと」古典	高名の木登り	・古典特有の表現に注意して、古典の世界に親しむ。 ・現代にも通じる筆者の考えを理解して、グループで話し合う。	b c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
	期末	故事と成語	５「Ｂ読むこと」古典	漁夫の利・虎の威を借る狐・故事成語を学ぶ	・訓読のきまりに従って適切に読み、話の展開を理解する。 ・故事成語の用例を調べて発表する。	b c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
		昔と変わらない人の心	５「Ｂ読むこと」古典	芥川・とりあえず、男がいた	・登場人物について的確に捉え、古典的な価値観と現代的を理解する。 ・短歌に込められた心情を解釈する。	b c	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）
		語感を磨く	５「Ｂ読むこと」近代以降	側転と三夏	・小説全体の構成・展開を読み取り、内容を理解する。 ・小説の題名が「側転と三夏」と付けられた意味を話し合う。	a c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）

後期	中間	和歌が作り出す世界	5 「A書くこと」	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集・和歌を訳す	・和歌の修辞法とその効果を理解し、和歌の世界に親しむ。 ・好きな和歌について積極的に調べ、紹介文を書く。	b c	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）
		昔と変わらない人の心	5 「B読むこと」古典	筒井筒	・登場人物について的確に捉え、古典的な価値観と現代的を理解する。 ・短歌に込められた心情を解釈する。	b c	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）
		漢詩を味わう	5 「B読むこと」古典	春暁・秋浦歌・江雪・涼州詞・送元二使安西	・漢詩のきまりを理解し、情景や心情を読み取る。 ・好きな詩について調べて発表する。	a b b	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
	期末	記録する文学	7 「B読むこと」近代以降	沖縄の手記から	・戦後の社会状況文化的背景について理解を深め、その時代特有のイメージを持つ。 ・「平家物語」を紹介し、合戦（戦争）を描いた作品を読み比べる中で、それぞれの作者が伝えたかったことは何であったか話し合う。	a c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
		論語のことば	8 「B読むこと」古典	論語	・「論語」の成立過程と日本への影響について理解する。 ・対句や同じ表現の繰り返しが用いられている箇所に注意しながら、声に出して発表する。	a c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）

計 70 時間（50 分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの授業時数合計	A 「書くこと」 10 時間	B「読むこと」古典 38 時間	B「読むこと」近代以降 22 時間

6 課題･提出物等

- 毎週、漢字テストがあります。テスト範囲は、年度初めに示します。
- 単元ごとに、復習プリントを提出することとなります。
- 長期休業中の課題は別途指示します。(指定図書の読書レポートなど)

7 担当者からの一言

「言語文化」は、現代文、古文、漢文の教材をバランス良く学ぶことで言語文化を理解し、親しむことに適した科目です。言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。「言語文化」及び「現代の国語」で学ぶことは、高校３年間だけでなく、皆さんの生涯にわたる基礎となります。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。楽しみながら、力を伸ばしていきましょう！

(担当：若井　明広)

令和５年度シラバス（国語）　　学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	２単位	学年(コース)	１学年
使用教科書	数研出版　『新編　現代の国語』				
副教材等	第一学習社『新版六訂　カラー版　新国語便覧』　尚文出版『常用漢字　ダブルクリア　四訂版』				

1　学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) ことばが持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2　指導の重点

進学･就職等希望進路が多岐にわたっていることから、
① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
② 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3　評価の観点の趣旨

知識・技能　a	思考･判断･表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
・　実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	・　「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・　言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

4　評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能　a	思考･判断･表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
評価の観点	・　実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	・　「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・　言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・　ペーパーテストの分析 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 などから､評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・　ペーパーテストの分析 ・　授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 ・　振り返りシートの記述の分析 などから､評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・　授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 ・　振り返りシートの記述の分析 などから､評価します。

5　学習計画

学期	区	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
前期	中間Ⅰ	書き手の意図をつかむ	5「C読むこと」	目指す世界の地図を作る	・「地図を作る」という比喩にこめられた筆者のメッセージを読み取る。 ・本文中の表現について、筆者の意図やその効果を考える。	a b	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）
		わかりやすく話す	5「A話すこと・聞くこと」	わかりやすく話す	・話題について考える。 ・相手が聞き取りやすいように話す。	b c	ワークシート（記述の点検） 発表の様子（行動の確認）
		書き言葉の技術	5「B書くこと」	適切な書式で通知する	・手紙の通知文の書き方を考える。 ・電子メールの通知文の書き方を考える。	a、b b、c	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の確認）
	中間Ⅱ	対比を読み取る	5「B書くこと」	水の東西	・筆者の主張や論拠、文章の構成、論理の展開について、ワークシートに記入し、200字程度で要約する。 ・互いの要約を読み比べ、コメントを書く。 ・説得力のある文章の特徴について考え、発表する。	b a c	ワークシート（記述の点検） ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
		話し言葉の技術	5「A話すこと・聞くこと」	メモをとりながら聞く	・聞いた内容を簡潔な言葉でメモする。 ・分からなかったことは後で確認できるようにしておく。	b c	ノート（記述の点検） ノート（記述の点検）
		文章の展開を把握する	5「B書くこと」	時間とは何か	・具体例を手がかりに、人間は時間をどのようにとらえているのかを読み解く。 ・論の展開を整理して、本部の要点をまとめる。	a b	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）
	期末	コミュニケーションと言葉	5「C読むこと」	世間話はなぜするか	・他者との関係において、世間話や「挨拶はどのような意味を持つと述べられているかをつかむ。 ・日常的な言葉のやりとりに着目し、その背景にある知識や話し手の含意を読み取る。	b c	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）
		書き言葉の技術	5「B書くこと」	必要な情報を整理して書く	・読み手を意識して、正しく理解してもらえるように書く。 ・簡潔な言葉を用いて情報を提示する。	b c	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）
		書き言葉の技術	5「A話すこと・聞くこと」	目的に応じて情報を聞き取る	・要点をメモにとる。 ・メモをもとにもとめて、発表する。	b c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）

後期	中間	日常の中の文章	5 「B書くこと」	広告コピーを書く	・キャッチコピーとボディーコピー、イラストの構成を考える。 ・読み手の心を揺さぶるコピーを考えて書く。	a c	コピーの確認 コピーの点検
		日常の中の文章	5 「B書くこと」	表現の工夫を読み取る	・新聞記事の表現上の特徴を話し合う。 ・主見出し、袖見出し、リード文等の構成を考えて、記事を書く。	c b	話し合いの観察 ワークシート （記述の確認）
		言葉の働きをとらえる	5 「C読むこと」	語感トレーニング	・日本語の語彙がたどってきた変化を知り、筆者が指摘する現代日本語の特性を理解する。 ・片仮名語の語感について考える。	a b	ワークシート （記述の確認） ワークシート （記述の点検）
	期末	話し言葉の技術	7 「A話すこと・聞くこと	根拠の妥当性を説明する	・商品レビューをもとに、主張と根拠の関係、根拠の妥当師を考える。 ・聞き手を納得させる根拠を提示して説明する。	a c	ワークシート （記述の確認） 発表の様子 （行動の確認）
		話し言葉の技術	8 「A話すこと・聞くこと	プレゼンテーション	・多様な情報を視覚情報と関連づけて編集する。 ・相手に分かるように発表・質疑応答する。	b c	ワークシート （記述の確認） 発表の様子 （行動の確認）

計 70 時間（50 分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 25 時間	B「書くこと」 30 時間	C「読むこと」 15 時間

6 課題・提出物等

- 毎週、漢字テストがあります。テスト範囲は、年度初めに示します。
- 単元ごとに、復習プリントを提出することとなります。
- 長期休業中の課題は別途指示します。(指定図書の読書レポートなど)

7 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけたり、言葉による見方考え方を働かせ、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばしたり、言葉が持つ価値への認識を深めたりすることなどを目指します。「現代の国語」及び「言語文化」で学ぶことは、高校３年間だけでなく、皆さんの生涯にわたる基礎となります。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。楽しみながら、力を伸ばしていきましょう！

(担当：若井　明広)

令和５年度シラバス（国語）　　学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

教科(科目)	国語(論理国語)	単位数	２単位	学年(コース)	２年次
使用教科書	大修館書店　『新編　論理国語』				
副教材等	第一学習社『新版六訂　カラー版　新国語便覧』　尚文出版『常用漢字　ダブルクリア　四訂版』				

1　学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) ことばが持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2　指導の重点

進学･就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
② 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3　評価の観点の趣旨

知識・技能　a	思考･判断･表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
・　論理的に「読む」「書く」知識や技能を身につけるようにしている。	・　論理的に考える力・他者と共感する力・想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で、言葉で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・　言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、言葉を効果的に使おうとしている。

4　評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能　a	思考･判断･表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
評価の観点	・　実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	・　「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・　言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・　ペーパーテストの分析 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 などから､評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・　ペーパーテストの分析 ・　授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 ・　振り返りシートの記述の分析 などから､評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・　授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 ・　振り返りシートの記述の分析 などから､評価します。

5　学習計画

学期	区	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
前期	中間Ⅰ	論理と出会う	5「A読むこと」	知の登山、知の水路	・「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 ・本文中の表現について、筆者の意図やその効果を考える。	a b	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）
		論理と出会う	5「A読むこと」	「論理的な人」とはどういう人か	・「論理」についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張を踏まえ、これからの学習に興味をもつ。	b c	ワークシート（記述の点検） 発表の様子（行動の確認）
		具体と抽象	5「A読むこと」	ウサギの耳はなぜ長い?	・具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。	a、b b、c	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の確認）
	中間Ⅱ	対比をとらえる	5「A読むこと」	デジタル地図から見える世界	・対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・主張を支えるための対比の用い方を考える。 ・説得力のある文章の特徴について考え、発表する。	b a c	ワークシート（記述の点検） ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
		主張をつかむ	5「A読むこと」	人工の自然	・主張と根拠の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。	b c	ノート（記述の点検） ワークシート（記述の確認）
		論理的に書く	12「B書くこと」	小論文①	・根拠を明示しながら論理的に主張を書く。 ・接続表現を適切に使って、論理的な文章を書く。 ・基本的な小論文の型を理解する。 ・反論を想定し、説得力のある小論文を書く。 ・推敲の観点を知り、文章を改善する。	a b b c	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）
	期末	統計資料を活用する	5「AC読むこと」	量の時代から質の時代へ	・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。	b c	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）

		比べて読む	5 「A読むこと」	紙の本はなくならないか	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。	b c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
後期	中間		5 「A読むこと」	情報化と紙の本のゆくえ	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。	a c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
		レポートを書く	4 「B書くこと」	テーマを決め、問いを立てよう	・具体的なレポートのテーマを決め、問いを立てる。	c b	ワークシート（記述の確認）
			4 「B書くこと」	情報を収集しよう	・適切な調査方法を選び、レポートに必要な情報を集める。 ・集めた情報をレポートで使えるように整理・分類する。	a b	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）
	期末		5 「B書くこと」	レポートをまとめよう	・読者を意識し、構成や記述に配慮しながら、読みやすくわかりやすいレポートを書く。	a c	ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認）
		主張をつかむ	5 「A読むこと」	「考える葦」であり続ける	・筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。	a b	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）

計 70 時間（50 分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの授業時数合計	A 「読むこと」 45 時間	B「書くこと」 25 時間

6 課題･提出物等

- 毎週、漢字テストがあります。テスト範囲は、年度初めに示します。
- 単元ごとに、復習プリントを提出することとなります。
- 長期休業中の課題は別途指示します。(指定図書の読書レポートなど)

7 担当者からの一言

「論理国語」は、実社会・実生活において必要となる、論理的に書いたり批判的に読んだりする力の育成を重視科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけたり、言葉による見方考え方を働かせ、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばしたり、言葉が持つ価値への認識を深めたりすることなどを目指します。「論理国語」で学ぶことは、高校３年間だけでなく、皆さんの生涯にわたる基礎となります。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、実際に書く学習活動を通して、応用力を高めていきます。楽しみながら、力を伸ばしていきましょう！
（担当：若井　明広）

令和５年度シラバス（国語）　　学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

教科(科目)	国語(文学国語)	単位数	２単位	学年(コース)	２年次（人文科学コース）
使用教科書	大修館書店　『新編　文学国語』				
副教材等	第一学習社『新版六訂　カラー版　新国語便覧』　尚文出版『常用漢字　ダブルクリア　四訂版』				

1　学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) ことばが持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2　指導の重点

進学･就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
② 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3　評価の観点の趣旨

知識・技能　a	思考･判断･表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
・　言葉がもつ価値への認識を深め、言語活動を通して知識や技能を身につけるようにしている。	・　文学的な文章に親しみ、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養うとともに、自分の考えや思いをわかりやすく他者に伝えようとしている。	・　言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会と関わろうとするとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。

4　評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能　a	思考･判断･表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
評価の観点	・　実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	・　「書くこと」、「読むこと」の各領域において、言葉が持つ価値への認識を深め、共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・　言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・　ペーパーテストの分析 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 などから､評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・　ペーパーテストの分析 ・　授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 ・　振り返りシートの記述の分析 などから､評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・　授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・　レポートやワークシート、意見文､提出物などの内容の確認 ・　振り返りシートの記述の分析 などから､評価します。

5　学習計画

学期	区	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
前期	中間Ⅰ	明日をひらく	5「A読むこと」	少なくとも最後まで歩かなかった	・筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ・筆者の考えていることと比較しながら、自分の生き方について考えを深める。	a b	ワークシート（記述の確認） 小テスト
			5「A読むこと」	そとみとなかみ	・筆者の言う「外側」と「「内側」を理解し、外側と内側の関係について考える。 ・「外側と内側」のように物事を比較してとらえ、認識を深める。	b c	ワークシート（記述の点検） 小テスト
			6「B書くこと」	一言で心をつかもう・魅力を言葉で表そう	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ・読み手の共感を得られるような言葉や表現を工夫して書く。	a、b b、c	ワークシート（記述の確認） 作品
	中間Ⅱ	小説を楽しむ	5「A読むこと」	ナイン	・場面設定の仕方を通して登場人物の心情を考える ・情景描写の効果を考えながら読む。	b a	ワークシート（記述の点検） 小テスト
		古典の世界	5「A読むこと」	かぐや姫の昇天	・かぐや姫の心情とその変化を読み取る。。 ・物語の描写の工夫を読み取る。。	b c	ノート（記述の点検） 小テスト
		詩を味わう	4「A読むこと」	小景異情・永訣の朝	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	a b	ワークシート（記述の確認） 小テスト
	期末	名作を読む	6「A読むこと」	山月記	・登場人物の生き方から自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。	b c	ワークシート（記述の確認） 小テスト
		社会に生きる	4「AC読むこと」	神去なあなあ日常	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・仕事や。	b c	ワークシート（記述の確認） 小テスト
		表現を味わう 表現を味わう	4「A読むこと」	身内ほど厄介なものはない	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	a b	ワークシート（記述の確認） 小テスト

後期	中間		6 「B書くこと」	エッセイを書こう・手紙を書こう	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・特定の読み手を想定し、手紙の形式で言葉を贈る。	b c	ワークシート（記述の確認） 作品
		古典の世界	5 「A読むこと」	行く川の流れ	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。 ・古典文学に興味を持ち、積極的に読書に取り組む。	a b	ワークシート（記述の確認） 小テスト
		読書の広場	5 「A読むこと」	さくら日和	・読書に興味を持ち、積極的に読書に取り組む。 ・作品の構造や語り手の視点を意識しながら、作品を味わう。	a c	ワークシート（記述の確認） 小テスト
	期末		5 「A読むこと」	鉄道員	・読書に興味を持ち、積極的に読書に取り組む。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	a c	ワークシート（記述の確認） 小テスト
		恋のうた	5 「A読むこと」	現代の恋・近代の恋・古典の恋	・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。	a b	ワークシート（記述の確認） ワークシート（記述の点検）

計 70 時間（50 分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの授業時数合計	A 「読むこと」 58 時間	B「書くこと」 12 時間

6 課題･提出物等

- 毎週、漢字テストがあります。テスト範囲は、年度初めに示します。
- 単元ごとに、復習プリントを提出することとなります。
- 長期休業中の課題は別途指示します。(指定図書の読書レポートなど)

7 担当者からの一言

「文学国語」は深く共感したり豊かに想像したりして、書いたり読んだりする力の育成を重視科目です。情景の豊かさや心情の機微に触れながら、文学的な文章の種類や特徴を学びながら親しみ、人間や社会、自然などに対するものの見方・感じ方を豊かにする読書の意義と効用について考え、楽しみながら力を伸ばしていきましょう！
（担当：若井　明広）

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

令和５年度シラバス（　国語　）

教科（科目）	国語（現代文Ｂ）	単位数	２単位	学年（コース）	３年次
使用教科書	数研出版『改訂版　現代文Ｂ 』				
副教材等	浜島書店『改訂新版 最新国語便覧』、桐原書店『パスポート国語必携 四訂版』 浜島書店『LT 現代文１』				

１　学習目標

近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。

２　指導の重点

① 様々な文章を読むことで、日本語の語彙を増し、豊かで幅広い概念と言語能力を身につける。
② 文章の読解を通じて、筆者や作者のものの見方・感じ方・考え方を学ぶ。
③ 多様な文章に触れることで、社会の様々な分野に目を向け、考察する姿勢を養う。

３　学習計画

学期	区	単元（主要学習領域）	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
前期	中間Ⅰ	（評論）岡真理「『文化が違う』とは何を意味するのか？」 副教材	・言語知識を身につけ、内容を理解する。 ・筆者の考えを読み取り、主題について考察する。 ・多様な価値観、視点から物事をとらえる。	10	定期考査 授業の取組み 提出物など
	中間Ⅱ	（評論）小浜逸郎「人はなぜ働かなくてはならないのか」 副教材	・論旨が明確な文章をもとに、論理的思考力を養う。 ・評論文の構成を学ぶ。	13	定期考査 授業の取組み 提出物など
	期末	（小説）山川方夫「朝のヨット」 （評論）丸山真男「『である』ことと『する』こと」 副教材	・内容を理解し、主題をとらえ、考察する。 ・心的描写を理解し、物語世界を味わう。 ・現代社会のあり方を論理的に捉え、社会との関わり方を考える。	17	定期考査 授業の取組み 提出物など
後期	中間	（小説）森鴎外「舞姫」 副教材	・近代の文学作品の主題を把握する。 ・文学的表現を味わう。 ・登場人物の生き方を通して人生観を養う。 ・背景となる時代や社会について理解する。	15	定期考査 授業の取組み 提出物など
	期末	（評論）竹内啓「偶然とは何か」 （評論）鷲田清一「顔の所有」 副教材	・抽象語を多用した文章を読み、抽象概念を把握する力をつける。 ・言語表現を磨く ・論理的思考力を養う。	15	定期考査 授業の取組み 提出物など

計 70 時間（50 分授業）

４　課題・提出物等

授業中随時（『LT１現代文』、『パスポート国語必携 四訂版』等）

５　評価規準と評価方法の評価の観点

①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
作品への興味・関心を深め、意欲を持って積極的に学習している。	内容を理解しながら、的確に聞き取り、適切に話すことができる。	読後の感想や自分の考えを適切に表現することができる。	自分の考えを深めながら、目的に応じて文章を的確に読み取ることができる。	学習の基礎となる漢字や語彙などの知識を身につけ、理解、発展することができている。
以上の観点を踏まえ、定期考査を中心に、授業の取組み、小テスト、提出物などの内容から総合的に判断します。				

６　担当者からの一言

２年次で培った漢字や語彙などの知識、読解力、理解力を基に、さらに正確に読み取る力を高めます。それに基づき、自分なりにさらに広く、深く物事を考察し、見識を深めていきましょう。また、言語化することによる感情や思考を整理する力をつけましょう。自主的に知識を求め、社会や世界について考え、つながるよう、学習を進めていきましょう。

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

令和５年度シラバス（　国語　）

教科（科目）	国語（現代文Ａ）		単位数	２単位	学年（コース）	３年次（人文科学コース）
使用教科書	第一学習社『改訂版　新編現代文Ａ』					
副教材等	浜島書店『改訂増補 最新国語便覧』　浜島書店『改訂版 プレゼミ総合国語』					

１　学習目標

近代以降の様々な文章を詠むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

２　指導の重点

①　様々な文章を読むことで、日本語の語彙を増やし、豊かで幅広い言語能力を身につける。
②　筆者や作者のものの見方・感じ方・考え方を学び、自己の思考力・表現力を伸ばす。
③　多様な文章に触れることで、社会の様々な分野に目を向け、考察する力を養う。

３　学習計画

学期	区	単元(主要学習領域)	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
前期	中間Ⅰ	（随想）毛利衛「新しい世界観」 （小説）いしいしんじ 「調律師のるみ子さん」	・漢字、語句を確認する。 ・内容を的確に理解する。 ・小説の伏線について理解する。	１１	定期考査 授業への取り組み 提出物
	中間Ⅱ	（言語と文化）飯田朝子 「数え方で磨く日本語」	・漢字、語句を確認する。 ・内容を的確に理解する。 ・小説の伏線について理解を深める。 ・日本語についての知識を深める。	１２	定期考査 授業への取り組み 提出物
	期末	（小説）江國香織「デューク」	・漢字、語句を確認する。 ・内容を的確に理解する。 ・日本の文化について理解を深める。	１２	定期考査 授業への取り組み 提出物
後期	中間	（言語と文化）阿刀田高 「犬も歩けば棒に当たる」 （小説）井上ひさし「ナイン」	・漢字、語句を確認する。 ・内容を的確に理解する。 ・筆者や作者の考えや思いについて理解し、考察する。 ・現代社会について考察を深める。	１７	定期考査 授業への取り組み 提出物
	期末	（小説）内海隆一郎「相棒」 （小説）原田マハ 「いろはにこんぺいとう」	・漢字、語句を確認する。 ・内容を的確に理解する。 ・筆者や作者の考えや思いについて理解し、考察する。 ・人間と社会の営みについて考察を深め、人生について考える。	１８	定期考査 授業への取り組み 提出物

計 70 時間（50 分授業）

４　課題・提出物等

授業中随時

５　評価規準と評価方法（評価は次の観点から行います。）

①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
興味、関心をもって意欲的に学習する態度がある。	目的や場に応じた話し方聞き方ができている。	考えを的確に書き表すことができている。	文章を的確に読み取れている。	漢字、語彙、表現の知識が身についている。

上記の観点により、授業への取り組みと提出物、及び単元テストにより評価する。
単元テストは、定期考査によらず、単元が終わり次第行う。

６　担当者からの一言

優れた文筆家たちが切り拓いてきた文学の凄さを、具体的な表現の一つ一つから感じ取ろう。

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

令和５年度シラバス（　国語　）

教科（科目）	国語（古典Ａ）	単位数	２単位	学年（コース）	３年次（人文科学コース）
使用教科書	第一学習社『高等学校 標準古典Ａ 物語選』				
副教材等	浜島書店『改訂新版 最新国語便覧』、数研出版『体系古典文法 要点整理ノート』				

１　学習目標

古典文学としての古文と漢文を読むことによって、伝統的な言語文化とその背景に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を養う。

２　指導の重点

① 古典を読む楽しさを伝え、古典に親しむ対と度育てるとともに、伝統と文化に対する関心を深めさせる。
② まとまりのある古典を読ませ、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深められるよう促す。
③ 伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深めさせる。

３　学習計画

学期	区	単元(主要学習領域)	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
前期	中間Ⅰ	（古文）『伊勢物語』 ・あづさ弓	・繰り返し音読し、読みに慣れる。 ・比較的短い文章を読み古文に親しむ。	１１	定期考査 授業の取り組み 提出物など
	中間Ⅱ	（古文）『徒然草』 ・相模守時頼の母は （漢文）故事・成語	・繰り返し音読し、文体を読み味わう。 ・読解のための知識を身につける。 ・漢文の基礎と故事成語を理解する。	１２	定期考査 授業の取り組み 提出物など
	期末	（古文）『大鏡』 ・延喜の帝 （漢文）『三国志』の世界 ・赤壁の戦い	・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・歴史上の人物の生き方や考え方、人柄などにふれ、人物像を捉える。	１２	定期考査 授業の取り組み 提出物など
後期	中間	（古文）『大鏡』・弓争ひ （漢文）『三国志』の世界 ・死せる諸葛生ける仲達を走らす	・繰り返し音読し、文体を読み味わう。 ・作品の概要と文学史上の意義を知る ・歴史の中の人間について考える。	１７	定期考査 授業の取り組み 提出物など
	期末	（古文）『更級日記』 ・門出 （漢文）近体詩	・和歌の基礎知識を身につける。 ・繰り返し音読し、表現の妙を味わう。 ・漢詩の理解を深め、詩形に親しむ。	１８	定期考査 授業の取り組み 提出物など

計 70 時間（50 分授業）

４　課題・提出物等

授業の進展に応じて、随時課題を指示する。

５　評価規準と評価方法（評価は次の観点から行います。）

①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
古典への興味・関心を深め、尊重して、意欲を持って積極的に学習し、向上を図ろうとしている。	的確に聞き取ったり、目的に応じて適切に話し合ったりして、自分の考えを深めている。	目的や意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、課題に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めている。	古典読解に必要な古典常識や文法的知識を身につけ、理解できている。
以上の観点を踏まえ、定期考査、授業の取り組み、提出物などの内容から総合的に判断します。				

６　担当者からの一言

偉大な先達たちによって紡がれてきた古典の凄さを、具体的な表現の一つ一つから感じ取ろう。